

2014年7月日本建築学会東北支部役員会議事録（案）

日時：2014年7月24日（土） 14:00～16:00

場所：日本建築学会東北支部

出席者：源栄，後藤，小地沢，有川，小林，川村，笹渕，伊藤（事務局），瀧（事務局）

Skypeによる出席者：日比野，荻谷，宮腰

1. 前回議事録の確認

- ・小地沢常議員が【資料1】を読み上げ、内容の確認を行った。誤字の修正を行い、内容が了承された。

2. 報告事項

1) 6月理事会報告

- ・源栄支部長が【資料2】に基づいて、6月理事会の議事の要点の報告を行った。
- ・会員数の増減については支部でも把握することが源栄支部長より提案された。併せて、支部での受託研究の獲得などによる活動財源の確保が期待されていることについて説明した。

2) 4月・5月・6月会計報告

- ・笹渕常議員が【資料3】に基づいて、報告を行った。
- ・支出明細中の支出「委員会旅費」について質問があり、事務局が「特色ある支部活動」での支出であることを説明した。
- ・資料のタイトルが「2013年度」になっている部分があり、修正することとした。

3) 2014年度支部総会開催報告

- ・後藤常議員が【資料4】に基づいて、報告を行った。

4) みちのくの風2014福島開催報告

- ・事務局が【資料5】に基づいて、報告を行った。
- ・主幹となった大学を中心に煩雑な作業が多く、マニュアルを整備し直す必要があるとの意見があり、次年度に向けた課題とした。

5) 作品選集2015応募作品と支部選考部会の審査経過報告

- ・事務局が【資料6】に基づいて、報告を行った。
- ・石田壽一先生（東北大）を委員長として、資料中のスケジュールに添って今後の審査を進める予定であることが報告された。

6) 2014年度日本建築学会設計競技 支部審査報告

- ・小地沢常議員が【資料7】に基づいて、報告を行った。
- ・支部入選者には8月1日に開催予定の全国1次審査会の後に入選を通知することを確認した。

7) 災害委員会市民企画講座・支部企画の採択報告

- ・事務局が【資料8】に基づいて、報告を行った。
- ・主催団体名として「日本建築学会 災害委員会」を使用すること、および会計は本部が行うことについて確認した。

8) 国連防災世界会議の進捗状況について

- ・笹渕常議員が【資料9】に基づいて、報告を行った。
- ・7月11日に公募開始となっており、学会としては本部から申込みを行い、支部では小野田泰明先生（東北大）を中心に連絡調整していることが報告された。

9) 地盤工学会東北支部とJIA東北支部からの後援依頼承諾の報告

- ・事務局が【資料10】に基づいて2件の後援依頼について説明を行い、源栄支部長と総務・企画担当常議員から事前に了承を得た上で承諾したことについて報告を行った。

10) 柴田先生大賞受賞記念講演会・祝賀会進捗状況報告

- ・事務局が当該行事の準備状況について報告を行い、111名の参加がある見通しが説明された。

11) その他

- ・源栄支部長が「災害に強いまちづくりシンポジウム」を10月28日にせんだいメディアテーク7階スタジオシアターで開催し、今後各研究部会長と協議する予定であることについて報告を

行った。また、『2011年東日本大震災災害調査報告書』のDVD発行やweb掲載、国連防災世界会議の応募事業との関連についても検討中である旨が報告された。

3. 審議事項

- 1) みちのくの風 2015 の開催地と会場について
 - ・ 小地沢常議員が【資料 11】に基づいて、過去 13 年の開催概要について説明し、次年度の開催候補として検討している会場一覧を示した。
 - ・ 例年は 7 月役員会で開催県を決定し、会場候補を選定していることを事務局が説明した。
 - ・ 次年度の運営責任者として満場異議なく後藤常議員を選任した。後藤常議員が佐藤慎也常議員ら山形県内の会員と調整し、9 月の役員会および支所長会議までに会場を決定することとした。
 - ・ 採用する可能性のある会場を予約しておくことが提案され、事務局が対応することとした。
 - ・ 今年度の反省を踏まえ、源栄支部長から体制づくりを進めるよう指示があった。
- 2) 日本建築学会教育賞の推薦依頼について
 - ・ 事務局が【資料 12】に基づいて、当該賞への推薦依頼があることについて説明を行った。
 - ・ 役員会の後、事務局より各研究部会に周知し、推薦を依頼することとした。
- 3) JIA 東北建築学生賞への審査員派遣について
 - ・ 小地沢常議員が「特色ある支部活動」により設計教育における実務者団体との連携を進めていることを説明した上、【資料 13】に基づいて、日本建築家協会東北支部から建築デザイン教育部会に対して当該賞の審査員派遣依頼が来ていることを説明した。
 - ・ 依頼通り、建築デザイン教育部会に審査員の選出を委ねることを満場異議なく承認した。
 - ・ 源栄支部長より震災に関連した設計コンペを行ってはどうかとの意見があり、小地沢常議員が建築デザイン教育部会において協議する方針を回答した。
- 4) 第 35 回東北建築賞・第 25 回東北作品発表会への応募について
 - ・ 事務局が【資料 14】に基づいて説明を行い、応募予定者からの質問への対応について協議を行った。
 - ・ 昨年度の審査に際してもプロジェクトとしての応募ではなく、建築物としての審査を行うことについて判断した経緯があったとの意見があり、小林常議員を中心に社会・文化担当常議員に判断してもらうこととした。
- 5) その他
 - ・ その他の意見がなく、審議を終えた。

今後の予定

- | | | |
|-------------------|--------------|-------------------------------------|
| ・ 9 月支部役員会 | 後日日程調整 | 13:30～15:30 (大会終了後の日程で調整) |
| ・ 支所長会議 | 支部役員会と同日 | 15:30～16:45 |
| ・ 懇親会 | 支部役員会と同日 | 17:00～19:00 |
| ・ 第 25 回東北建築作品発表会 | 9 月 20 日 (土) | 10:00～
せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアターにて |

文責：小地沢